

予習用課題

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

第2章 世界の海運—スエズ運河でのコンテナ船座礁を例に— (その2)

その1では、スエズ運河の位置や自然環境、世界の物流におけるコンテナ輸送の現状などについて見てきました。その2では、世界の物流におけるスエズ運河の果たす役割や、海運によって日々の生活が支えられている日本のとるべき海運政策について考えます。

* この教材は、「世界の大動脈・スエズ運河の遮断と、これが日本人にとって決して他人事ではない理由とは!？」(宮路秀作・代々木ゼミナール地理講師&コラムニスト)の2021年3月25日(木)17:07付けのYahoo!ニュースに基づいて作成しています。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/miyajisyusaku/20210325-00229254/>



* Google Earth のプロジェクト「スエズ運河」はこちら。スマホの場合は、Google Earth のアプリをインストールする必要があります。

https://earth.google.com/earth/d/1H2RnqJCLI7bpeRdj6MQBb3gcf_awLln6?usp=sharing



(教科書等の関連ページ)

- 教科書：p.158～160「1 世界の交通網」
- 資料集：p.216～217「交通・通信・観光」

4 節 スエズ運河を通航している貨物船は、どんなものをどこに運んでいるのでしょうか?

生徒：(1)Yahoo!ニュースによると、スエズ運河を通してさまざまな貨物がさまざまな場所に運ばれ、世界の(2)サプライチェーンを支えているそうですね。

先生：そうなんです! ちょっと専門的な内容になりますが、せっかくの機会なので(3)エジプト・スエズ運河庁が発行する年次報告書 (*「Suez Canal Traffic Statistics Annual Report 2019」) からいくつかの統計を取り出して考えてみましょう。

* 年次報告書は次の Web サイトからダウンロードできます。

<https://www.suezcanal.gov.eg/English/Downloads/DownloadsDocLibrary/Navigation%20Reports/Annual%20Reports%E2%80%8B%E2%80%8B%E2%80%8B/2019.pdf>

問1 下線部(1)に関して、各問に答えなさい。

- (i) ケニアの高原地域では (a) や切り花の生産・輸出がさかんで、オランダはケニアに (b) 栽培を持ち込みました。現在でもケニアの (b) はスエズ運河を通じてオランダに輸出されています。
- (ii) 近年は、アジア諸国における生産拠点が (a) だけでなく (b) やインドにも設けられるようになりました。そのため、これらの地域からの輸出が増加傾向にあり、スエズ運河を利用して多くの貨物が運ばれています。

問2 下線部(2)に関して、サプライチェーンとは何でしょうか。次の Web サイトからそのまま抜き出なさい。

<https://www.daiwabutsuryu.co.jp/useful/words/supply-chain>



問3 下線部(3)に関して、各問に答えなさい。

- (i) 表 1 は、スエズ運河を通航した船舶数と*純トンの推移をまとめたものです。表 1 から読み取れることを 1 行の文章で答えなさい。

* 純トンとは、船の中で純粋に荷物を積むことができるスペース (容積) を表したもので、1 年間にスエズ運河を通航したすべての船の純トンを加えたものです。

表 1

年	船舶数 (隻)	純トン (Net Tonnage, N/T) (千トン)
1980	20,795	281,305
1990	17,664	410,322
2000	14,142	439,041
2010	17,993	846,389
2019	18,880	1,207,087

(年次報告書 p.2)

(予習時の答えはこのページに記入してください)

- (ii) 表 2 は、2019 年にスエズ運河を通航する貨物船が積んでいる貨物の取扱港（出発港と到着港）がある国ごとに貨物の重さを合計し、その上位 5 ヶ国をまとめたものです。表 2 中の国を地図帳 p.1～2 の世界地図にマーカーでマークして、貨物船がどのような動きをしているか、どんな種類の貨物がおもに運ばれているのか、地図上で想像しなさい。また、運河の北の表を見るとオランダが 1 位ですが、その理由を教科書 p.141 のコラム「地域を見る目」を読んで 2 行 の文章で答えなさい。

表 2

● 運河の北

	国	千トン	%
1	オランダ	119,668	11.6
2	エジプト	107,813	10.5
3	アメリカ合衆国	85,587	8.3
4	スペイン	66,792	6.5
5	ギリシャ	66,592	6.5
	合計	1,031,193	

● 運河の南

	国	千トン	%
1	サウジアラビア	209,796	20.3
2	シンガポール	177,857	17.2
3	中国	115,651	11.2
4	インド	94,497	9.2
5	マレーシア	83,649	8.1
	合計	1,031,193	

(年次報告書 p.13)

- (iii) 表 3 は、2019 年にスエズ運河を通航する貨物船が積んでいる貨物の重さ上位 5 品目を南行きと北行きにわけてまとめたものです。南行き貨物の特徴を、北行き貨物と比較して 1 行 の文章で答えなさい。

表 3

● 南行き(地中海→紅海)

	品目	千トン	%
1	コンテナ	256,294	44.8
2	原油	59,061	10.3
3	穀物	53,042	9.3
4	鉱石と金属	48,699	8.5
5	*燃料油	27,532	4.8
	合計	572,346	

● 北行き(紅海→地中海)

	品目	千トン	%
1	コンテナ	251,114	54.7
2	原油	48,135	10.5
3	軽油	32,931	7.2
4	LNG(液化天然ガス)	23,312	5.1
5	ガソリン	22,736	5.0
	合計	458,847	

* ガソリン・軽油は含まない。

(年次報告書 p.14 と p.23)

(予習時の答えはこのページに記入してください)

(iv) 表 4 は、2019 年にスエズ運河を通航する貨物船の積み荷のうち、穀物と肥料の輸出国上位 6 ヶ国をまとめたものです。最近のできごとから推察して、現在、どのような問題が起こっているか（起こる可能性があるか）、2 行以上の文章で答えなさい。

表 4

● 穀物の輸出国

	国	千トン	%
1	ウクライナ	21,128	39.8
2	ロシア	11,373	21.4
3	ルーマニア	5,335	10.1
4	フランス	2,657	5.0
5	アメリカ合衆国	2,191	4.1
6	ドイツ	1,869	3.5
	合計	53,042	

● 肥料の輸出国

	国	千トン	%
1	モロッコ	4,652	27.7
2	リトアニア	3,832	22.8
3	ロシア	3,778	22.5
4	トルコ	588	3.5
5	ノルウェー	518	3.1
6	ウクライナ	514	3.1
	合計	16,780	

(年次報告書 p.16 と p.19)

(予習時の答えはこのページに記入してください)

5 節 スエズ運河建設の歴史や背景を知ろう!

生徒：そもそもスエズ運河はなぜつくられたのでしょうか?

先生：いまさらですか!? わかりました・・↓。では、エジプト・スエズ運河庁の Web ページで確認してみましょう。

問1 下線部に関して、次の Web ページを開いて各問に答えなさい。

<https://www.suezcanal.gov.eg/English/MediaCenter/Animations/Pages/RoutesAndTimeSaving.aspx>



- (i) 「Routes & Time Saving」(ルートと時間短縮)のページが開きますので、「Tokyo Rotterdam (ロッテルダム)」を選択して、二つのルートと距離を確認しなさい。
- (ii) スエズ運河を利用しないと (a) 大陸の南端をぐるっと回る必要があります。そのため東京ーロッテルダム間の距離は (b) N.Mile (海里 (かいり), 1 海里 = 1.852km) です。スエズ運河を利用すると 11,192 N.Mile ですから、スエズ運河を通航することによって (c) % も短い距離で移動できることになります。

先生：スエズ運河をつくれなかつと考えた歴史上の人物には、フランス革命で有名なナポレオンなど多くの人がいたそうですが、実際に建設に着手したのはフランス人のレセップスでした。

生徒：聞いたことがあります。レセップスについてネットで調べて明日、報告します!!

問2 下線部に関して、次の Web ページを開いて、空欄にあてはまる語句を答えなさい。

<http://www.y-history.net/appendix/wh1202-067.html>

* 「安全ではありません」などと警告が出てても心配せず開いてください。



レセップス (1805～94) は 19 世紀のフランスの外交官・実業家で、1869 年にスエズ運河を完成させ、さらに 1880 年から (a) 運河の建設を開始しましたが失敗しました。レセップスはフランスの外交官として (b) 在勤中、(c) と (d) を結ぶことを考えました。当時の (b) は (e) 帝国から半独立した状態で、(f) とフランスが影響力を及ぼそうと競争していました。エジプトの指導者であったサイード (1822～63, 位 1854～63) と個人的なつながりがあったレセップスは、サイードにスエズ運河開削 (かいさく) を申請し、許可されました。(f) の妨害がありましたが、株式会社の国際スエズ運河会社を設立して 1859 年から掘削 (くっさく) をはじめ、1869 年にサイードにちなんでつけられた地中海側の入口・(g) で開通式が盛大に開催されました。

(予習時の答えはこのページに記入してください)

生徒：先ほど調べたなかに「イギリスの妨害」とありましたが、なぜイギリスはスエズ運河の建設に反対したのでしょうか？

先生：いいところに気づきましたね！ ではこのことについて、教科書 p.271～272を参考にしながら一緒に考えてみましょう。

問3 下線部に関する各問に答えなさい。

- (i) 7世紀以降、アラビア半島で生まれた（ a ）は、エジプトやマグレブ諸国といった（ b ）にもたらされ、（ c ）も普及しました。
- (ii) （ a ）砂漠以南のアフリカには、古くから独自の文化をもつ王国が栄え、西アフリカでは（ a ）砂漠を越える交易路もできました。また、アフリカ東岸では（ b ）商人による（ c ）がさかんになっていくなかで沿岸部を中心にイスラーム教が浸透し、アラビア語の影響を受けた（ d ）が今も使われています。
- (iii) 15世紀末になると、ヨーロッパ諸国による（ a ）が行われ、19世紀末には、ほぼ全域がヨーロッパの（ b ）になっていきます。
- (iv) p.271の図「④ 1914年のアフリカの植民地」を見ると、大半が（ a ）と（ b ）の植民地になっていることがわかります。このことから、両国はアフリカの分割をめぐる激しく対立していたことがわかります。

(予習時の答えはこのページに記入してください)

6 節 スエズ運河での座礁事故は日本にとっても他人事ではない!

生徒：島国の日本では、貿易はほとんどが船によって行われています。今回の座礁事故は、とても他人事（ひとごと）とは思えません。

先生：私もそう思います。たとえば、(1)原油の場合、自給率は 0.3% (2018 年) に過ぎないんです。また、(2)国内の貨物輸送でも船が活躍しているって知っていますか?

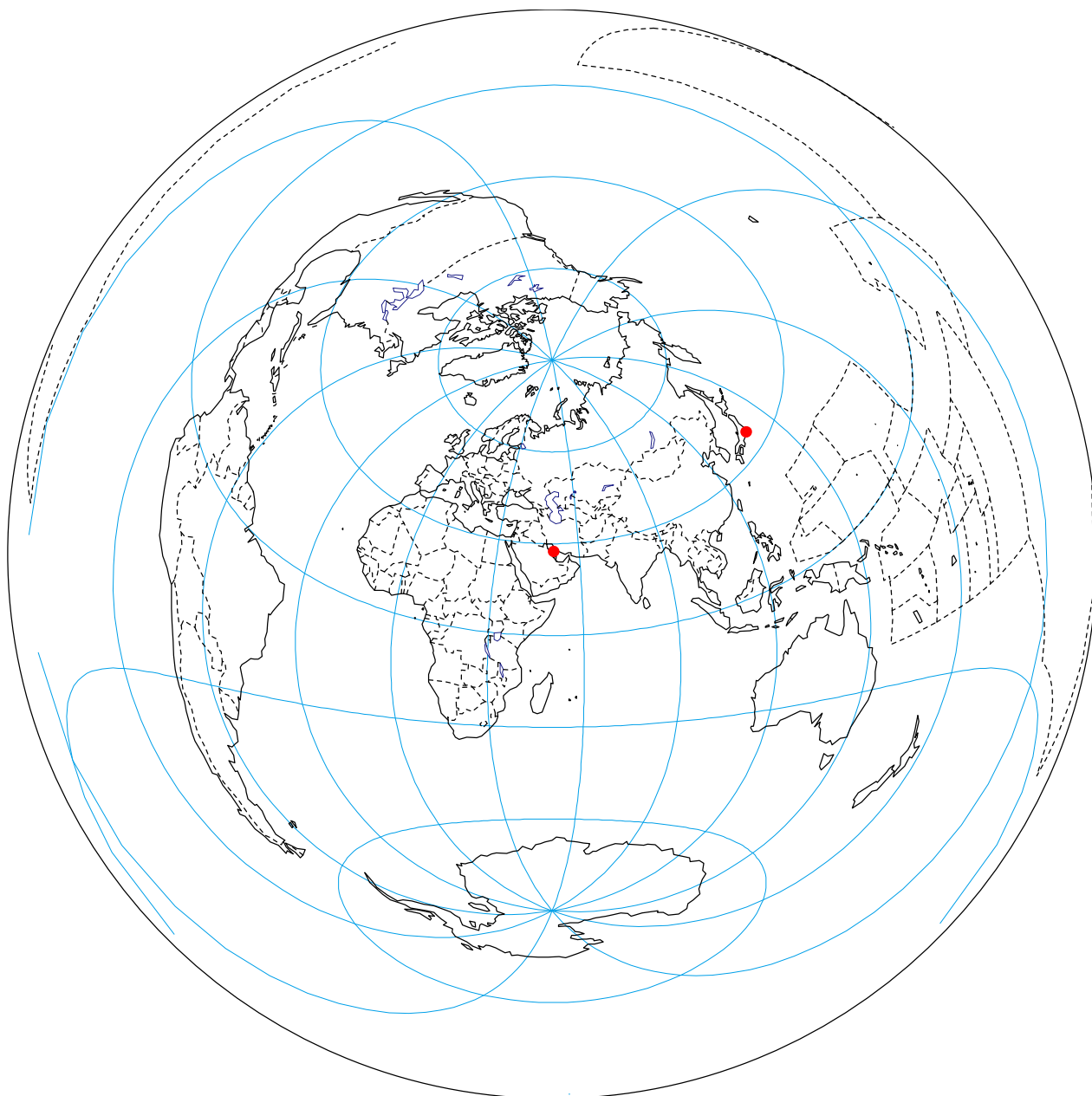
生徒：えーっ!! ほんとうですか? これから海運についてもっと勉強していこうと思います。

問1 下線部(1)に関して、各問に答えなさい。

- (i) 資料集 p.180「① 資源の輸入相手国」を見て、日本の原油輸入先国のうち、油田が集中するペルシア湾に面している国を、サウジアラビアを除いてすべて答えなさい。
- (ii) サウジアラビアを代表する原油積出港として知られるラスタヌーラ港から千葉港に至るタンカーの航路を、次のページの図 2 中に記入しなさい。ただし、マラッカ海峡を通過する航路は赤、ロンボク海峡・マカッサル海峡を通過する航路は青で記入するものとします。

問2 下線部(2)に関して、資料集 p.186「② 国内輸送の内訳の変化」を見ると、2015 年の貨物輸送に占める船の割合は（ ）%です。

(予習時の答えはこのページに記入してください)



- (注)
- ・ ラスタヌーラ港中心の正距方位図法で作図。図の中心 (●) から引いた直線は距離と方位を表しています。
 - ・ ここに記入したラスタヌーラ港―千葉港のルートは曲線になるため、距離と方位は正しく表しているとは言えません。
 - ・ 緯線と経線の間隔はどちらも 30 度です。

図 2